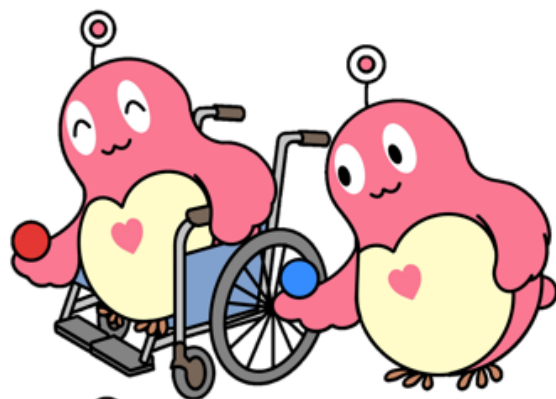


参加者
大募集！！

1対1の
個人戦



第5回仙台市 障害者ボッチャ大会

参加費無料

日程

令和7年 **4月26日**（土）

- 9:30（区分判定・競技説明・コート開放）
- 12:30（開会式）

会場

新田東総合運動場 宮城野体育館 メインアリーナ

対象

市内在住・通勤・通学している

肢体不自由の方 ※障害内容により出場区分が異なります。

申込期間

令和7年3月1日（金）～3月28日（金）

【仙台市障害者ボッチャ大会 とは・・・？】

障害がある方（肢体不自由者）を対象にしたボッチャ大会です。
大会は正式なルール（全国障害者スポーツ大会競技規則を準用）で行います。
これまで大会に出場したことがない方でも、普段の活動で取り組んでいる経験があれば、楽しくプレイすることができます。

また、全国障害者スポーツ大会（2025年は滋賀県開催）の仙台市代表選手を選考する大会にもなります。

※選考方法は全国大会参加意向のある者の中から本大会の成績の他、出場経験等を考慮し選考されます。

仙台市障害者ボッチャ大会とはどんな大会



Q1. どんな人が参加できますか？

- ☐ 令和7年4月1日現在、満12歳以上の方
- ☐ 仙台市在住・通勤・通学・入所・通所されている方
- ☐ 身体障害者手帳をお持ちの方(視覚・聴覚・内部障害を除く)
- ☐ 身体障害者手帳の取得対象となる方※現在、取得申請中なども含まれます。
(視覚・聴覚・内部障害を除く)

Q2. 出場する部門の違いは何ですか？

- ☐ 「座位の部」は、全国障害者スポーツ大会(ボッチャ競技)に出場することができる障害(7ページ 障害区分表 区分番号2～8、10)があり、投球時に「車いす」または、「椅子」を使用している方が出る部門です。
- ☐ 「立位の部」は、全国障害者スポーツ大会(ボッチャ競技)に出場することができる障害(区分番号1、9)があり、投球時に「立って」ボールを投げる方が出る部門です。この時、杖や歩行器などの補助具の使用も認められます。
- ☐ 「オープンの部」は、全国障害者スポーツ大会(ボッチャ競技)に出場することができる障害に該当しない方(区分番号11)で、肢体不自由の方であればどなたでも参加が可能です。車いすの方や立位の方が混ざって対戦をします。

Q3. 出場する部門や障害区分がわかりません。

- ☐ あなたの障害内容によって出場部門や障害区分が決まります。
- ☐ どの部門や障害区分に該当するかは、2ページ目の「障害区分フローチャート」をご確認下さい。

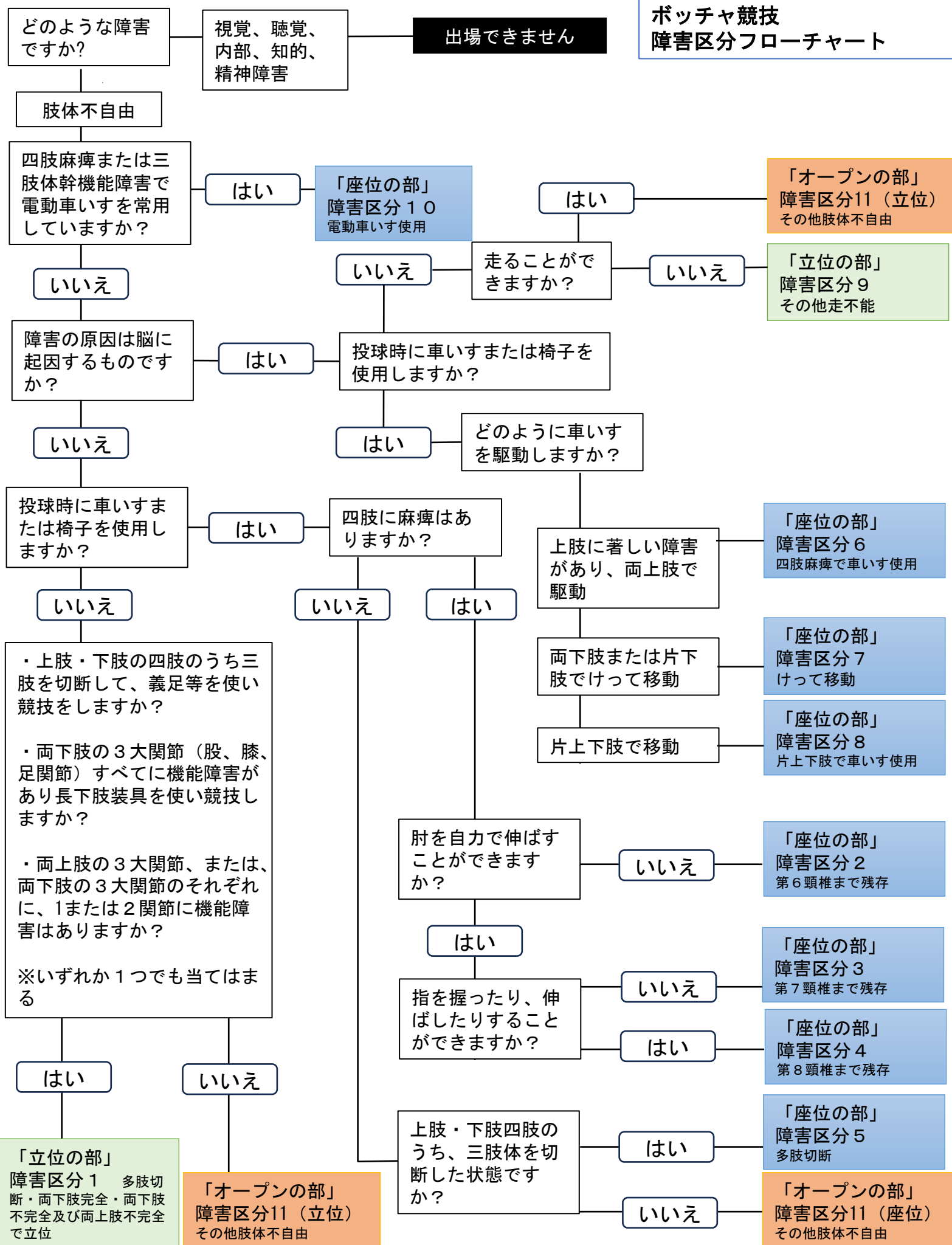
Q4. 5月～6月かけて行われる他の障害者スポーツ大会には出られますか？

- ☐ この大会は、「宮城県・仙台市障害者スポーツ大会」の一部となっています。他の競技(陸上・水泳・卓球・フライングディスク・アーチェリー・団体競技)へのエントリーは、「オープンの部」に該当する方のみ参加が可能です。

Q5. 障害区分判定とはどういうことをしますか？

- ☐ お申込みいただいた内容と出場区分が合致しているか、専門スタッフにより参加者の障害状況を確認します。一度、行ったことがある方でも現在の障害状況を確認しますので、全員参加をお願いします。また、判定結果により出場区分及び障害区分が変わる場合がございますので、ご了承ください。

ボッチャ競技 障害区分フローチャート



※座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルを言う。

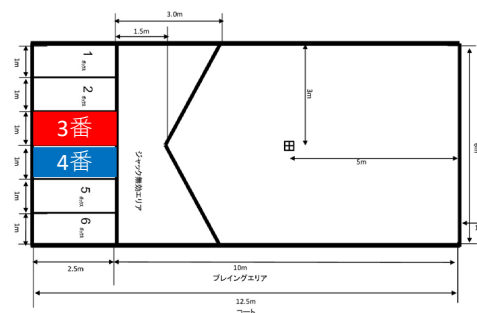
※座位で競技する選手（区分2～8および10）の選手で、移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者及びランプ使用者について、選手1名について1名のスポーツアシスタントまたはランプオペレーターを認める。

※立位で競技する者については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

仙台市障害者ボッチャ大会 競技ルールについて

●競技方法

- ・コート大きさは、12.5m×6m
- ・投球ボックスは3番と4番を使います。
- ・1対1の個人戦とし、1組3名～4名のリーグ戦で行います。
- ・リーグ戦は「立位の部」、「座位の部」、「オープンの部」に分かれて実施します。
- ・試合は、1試合 2エンド行います。2エンドの総得点で勝敗を決めます。
- ・1エンドの投球時間は、選手それぞれ5分以内に全てのボールを投げ終える必要があります。
- ・同点の場合はファイナルショット(タイブレイク)を行います。



◆ファイナルショットとは◆

コート中央のクロスにジャックボールを配置しそれぞれ1球を投球して、ジャックボールにより近いボールを投球した選手が勝ちとなる。

●スポーツアシスタント・ランプオペレーター・コーチ

【スポーツアシスタント】

座位で競技する選手で、投球はできるが車いすの方向を変換、移動することが機能的に困難な選手に車いすの方向転換などのサポートを行うことができます。

【ランプオペレーター】

ランプを使用する選手にランプの調整・車いすの方向転換などのサポートを行うことができます。

【コーチ】

立位の選手、座位の選手で上記に該当しない選手に1名のコーチを付けることができます。立位の選手の介助者や手話通訳者もこれに含まれます。

※試合中の介助等は審判が必要と判断した場合、認められます。

●ランプ以外の投球補助具について

- ・ポインター(ランプにセットされたボールをリリースする際の用具)は、選手が直接装着します。(頭部、口、腕、脚など)
- ・グローブの使用を認めます。

●競技用具について

- ・大会で使用するボールは大会主催者で用意したボールを使用できます。また、ご自身で用意したボール(公認球のみ)を使用することも可能です。
- ・ランプは大会主催者から貸出可能ですが、その他の投球補助具はご自身でご準備ください。

仙台市障害者ボッチャ大会 競技ルールについて

●試合の流れについて

招集

- ・試合前に招集を行います。選手、コーチ・スポーツアシスタント・ランプオペレーターは試合コート前に集まります。
- ・選手の意思表示の方法、配慮事項について確認を行います。

試合

- ・試合開始前に2分間の投球練習を行い、試合を開始します。

●選手が試合中にできること（意思表示）※重要

- ・自分の持ち時間の残り時間の確認
 - ・コート内のボールの位置の確認(コート内に入ることができる)
 - ・残りのボールをこれ以上投球しない。
- ※意思表示の方法は以下の中から試合前に審判が確認を行います。

①選手が
口頭で行う

②選手が
ジェスチャーで行う

③ランプオペレーターまたは、
スポーツアシスタントを通じて行う。

※意思表示の時間は全て、自分の持ち時間内に行います。

※③の時、ランプオペレーター等は挙手にてアピールを行います。その時にランプオペレーターはコートの中を見ることはできません。

◆その他の配慮事項(選手は必要なことを招集時に審判へ伝えることができます)

- ・車いす使用者で床にあるボールを取ることが困難な時、膝の上に置いてほしい。
- ・ボール確認の場面で自力で行くことが難しい時、車いすを押してほしいなど。

●反則について

- ・コートのラインを踏む、ボックスの外に足や補装具、ランプの先端が前のラインを出た場合。
但し、ランプの先端が横のラインを越えた場合は違反にはなりません。
- ・審判の指示がある前(自分の色のパドルが示される前)に投球した場合。
- ・ランプを使用する選手のランプオペレーターが、試合中のコートを見た場合等

※ **競技ルールについてわからないことがあればお気軽にお問い合わせください** ※

- ・大会当日の午前中に試合の進め方などについて、審判より説明がありますので、ご確認ください。